

■競技要綱

<インスペクション>

- (1) インスペクションの際には必ずゼッケンを着用し、旗門内を通過する時には横滑り及びブルークとし、ターンはコース外で行う。

<タイム>

- (2) タイムは電光計時を正式タイムとする。
- (3) オーバータイムの時間制限は5分とする。

<スタート>

以下(5)～(7)は第31回大会を対象として変更（要綱としての変更は別途第32回大会以降にて検討[※3]）

- (4) スタートコールは、各組スタート予定時間の10分前、ゼッケン番号順30番毎に行う。

- (5) スタート時に遅れた場合はDSとしてスタート順を変えます。

- (6) スタートは30秒～40秒間隔で行う。

- (7) 定時スタートの場合、競技者が公式スタート時刻より5秒以上後でスタートラインを横切った時は、スタートタイムより5秒だけ遅れてスタートしたものとみなす。

<旗門通過>

- (8) 旗門は、競技者のスキーマ先端と両足で、スノーボードにあつてはボードの先端と両足で、ポールとポールを結ぶ線上[※1]を通過しなければならない。
- (9) 競技者は、旗門を通過したか否かについて旗門員[※2]に判定を求めることが出来る。
- (10) スイッチバックを認める。
(スキーマの両先端と両足で、スノーボードにあつてはボードの先端と両足で、ポールとポールを結ぶ線上[※1]に戻すことで通過とみなす。)

<バンフライ>

- (11) 後走者が前走者に追いついてしまった場合、後走者が『バンフライ』、『ドケー』等の発声をした時には、前走者はコースを開けなければならない。この時、旗門員[※2]も必要に応じて前走者にバンフライの指示を行う。
バンフライの指示を受けたにもかかわらずコースを開けず、後走者の進路妨害した前走者は失格とする。

<途中棄権>

- (12) 途中棄権する者は、その旨を最寄りの旗門員[※2]に伝え、速やかにコースアウトし、以後コース内に立ち入ってはならない。

<ゴール>

- (13) ゴール時には少なくとも片方の足にスキーマまたはスノーボードを着けていなければならない。
- (14) ゴール線は正規の進行方向から通過しなければならない。
(スイッチバックによるゴールインは認めない。)

<進路妨害>

- (15) 進路妨害のアピールは、競技者本人がゴールせずに（ゴールを切った場合の再レースは認めない）コースアウトして旗門員[※2]に確認の後、速やかに競技主審（ゴールテント内）に申し出る。
- (16) 競技者はアピールが受け入れられた場合に限り、再レースを行うことが出来る。再レースは、当該競技者のスタート準備が出来次第、ただちに行う。
- (17) バンフライの指示を受けたにもかかわらず進路を妨害した選手のいるチームは団体賞有効ポイントより10ポイントとする。

(18) 失格の判定等、規則の運用に当たっては、基本的秩序を損なわない範囲、寛容な姿勢で臨むものとする。

<前走>

(19) 少なくとも、1名以上の前走者を用意する。

<抗議>

(20) 個人成績の確認・抗議等の受付は、計時に対しては非公式成績が発表された後15分以内に、また、競技中の失格に対しては、失格の発表後15分以内とし、その後の抗議は一切受け付けない。

(21) 団体成績の確認・抗議等の受付は、仮発表より15分以内とし、その後の抗議は、一切受け付けない。

<準拠規則等>

(22) 本項に定めのない事項については、SAJ競技規則に準拠し、大会実行委員長及び競技長の判定に従うこと。

※1 旗門通過ラインは、ダブルフラッグ時はポールとポールを結ぶ線、シングルフラッグ時はコースに対してポールの外側に斜面と直行する仮想線とする。

※2 <旗門員の役割>

- 1 旗門員は、自分が担当する旗門を、競技者が通過したか否かについての判定を行う。
- 2 旗門員は競技者がスイッチバック等によって旗門を通過する場合、その判定を「OK」等の発声で、競技者に知らせる。なお、旗門員が近くにいない場合は、競技者本人の判断により判定を行ってよいものとする。
- 3 旗門員は、後ろから滑り出した選手が前の選手に追いついてしまい、競技を続行する上で前走者が障害と感じた場合、前走者にバンフライの指示を与える。
- 4 旗門員は、自分が担当する旗門の不通過者のチェックを行い（メモ用紙に通過の仕方を図説）、コース巡回係が来た際に不通過者のゼッケンN0.と通過の様子をチェックしたメモを渡す。
- 5 旗門員は定期的なコースの整備時（原則として30人間隔）にコース整備を行う他、必要に応じて同作業を行う。ただし競技者の通過に十分注意を払うこと。
- 6 旗門員は、ポールが抜けた場合ただちにそのポールを元のマーキングされた位置に戻すこと。その際、後走者のコース妨害にならないようインポール内側から行うこと。
- 7 旗門員は、各チーム責任を持って選任にあたること。また旗門員の交替にあたっては出走順を考慮して、スタートコールに遅れないよう注意すること。
- 8 旗門員の判断に障害となる者はいかなる者もどかすことができる。

※3 <スタート> 第31回大会の暫定的要綱について

前頁の<スタート>は第31回大会のみを対象として記載を修正したものです。本項の正式な競技要綱変更については第32回大会以降の検討にて決定します。以下点線枠は第30回大会までの記述です。

(5) スタートコールに遅れた場合は原則として失格とする。

(6) スタートは30秒～40秒間隔で行う。

(7) 定時スタートの場合、3秒以上早くスタートラインを横切った競技者は不正スタートで失格となる。競技者が公式スタート時刻より3秒以上後でスタートラインを横切った時は、スタートタイムより3秒だけ遅れてスタートしたものみなす。

<成績>

(1) 団体成績の計算に当たっては、個人成績を下表の方法により得点化する。

スキー男子

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ポイント	130	120	112	105	100	95	90	86	82	78
順位	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ポイント	74	71	68	65	62	59	56	53	50	48
順位	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ポイント	46	44	42	40	39	37	36	34	33	31
順位	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
ポイント	30	28	27	26	25	24	23	22	21	20
順位	41-42	43-44	45-46	47-48	49-50	51-53	54-56	57-59	60-62	63-65
ポイント	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
順位	66-68	69-71	72-75	76-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	
ポイント	9	8	7	6	5	4	3	2	1	

スキー女子

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ポイント	130	105	90	78	68	60	52	46	40	35
順位	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ポイント	30	26	23	20	18	16	15	14	13	12
順位	21	22	23	24	25	26	27-			
ポイント	11	10	9	8	7	6	5			

スノーボード男子

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ポイント	65	56	48	41	35	32	29	26	23	20
順位	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ポイント	18	16	14	12	10	9	8	7	6	5
順位	21	22	23-							
ポイント	4	3	2							

スノーボード女子

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-
ポイント	65	42	30	25	20	15	10	7	6	5

(2) 団体成績は、各チームの上位ポイントスキー男子5名、スキー女子2名、スノーボード男子2名、スノーボード女子1名の合計得点および特別ポイントをもって定める。

(3) 同タイム選手の順位は、出走順の遅い選手を上位とする。

(4) 同点チームの順位は、男女スキー・スノーボードの最高得点者の得点合計が多い方のチームを上位とする。

(5) 特別ポイントは、全種目男女総合順位のBBに+20ポイント、BMIに+15ポイントとする。